

「地域ブランディング」を考える

～ 地域ならではの価値を ブランドにするための考察&体験 ～

日本では、地域の実情にあわせた暮らしが生まれ、各地域ならではの多様な「産業」「食」「文化」「伝統」が存在しています。そのような地域らしさを「価値」としてとらえ、各地域を訪れる国内外の観光客が増加しています。観光客が訪れ、地域の方と交流が発生することで、地域には誇りや活力が生まれ、地域としての持続可能性が高まっていきます。地域ならではの価値を地域内外に魅力的に発信していくために、地域団体商標等の知的財産を活用するなど、価値を守りつつ育てる「地域ブランディング」について、全国での好事例やプロモーション施策の構築ワークから実践的に学ぶイベントを開催します。

〔 開催要項 〕

日時 **2025 2.17** 月
13:00 — 16:30
(12:30 受付開始)

場所 **ウインクあいち
1204号室**
(名古屋市中村区名駅 4-4-38)

対象 **「地域ブランディング」に
関心がある方**

- ・自治体関係者
- ・観光関係者
- ・商工会議所等の地域支援団体関係者
など

定員 **40** 名 (先着順)

参加費無料

第1部 — 基 調 講 演 13:00 — 14:50

事例から学ぶ「地域ブランディング」

地域の産業、文化、人、自然といった「今ある資源」を活かしながら、産業振興、関係人口増加、文化振興、未来ビジョン策定、知財活用、持続可能な地域づくりなどに取り組んできました。今回は、地域産業の魅力発信を軸に持続的に推進する体制作りを地域と共創した諏訪市、伝統的な文化や産業・工芸の魅力を掘り起こし観光プロモーションに新たな挑戦を始めた鉧路市の事例を紹介します。

講師 株式会社ロフトワーク **二本柳 友彦氏**
ゆえんユニットリーダー

千葉大学工学部デザイン工学科卒。建築設計事務所を経て IID 世田谷ものづくり学校を運営する株式会社ものづくり学校に入社し、企画室長・広報のほか姉妹校の立ち上げに関わる。2014 年、ロフトワークに入社。「経済産業省 JAPAN ブランドプロデュース支援事業 MORE THAN プロジェクト(2014-2016)」、「SUWA デザインプロジェクト」「Hokkaido to Go」「ふるさとデザインアカデミー ichij」などを手がける。官公庁や自治体のプロジェクトを中心に、場所を問わず、クリエイティブコラボレーションを軸に展開している。



第2部 — ワークショップ 15:00 — 16:30

体感する「地域ブランディング」

実在するエリアを題材に、地域の魅力を掘り起こし、国内外の観光客や地域住民に響くプロモーション施策の構築を体験するワークショップ。普段は別々の地域で活動する参加者同士が意見を交換し合い、多様な視点を取り入れながら具体的なアイデアを生み出し、観光促進や地域活性化に繋げるプロセスを実践的に深く学びます。

講師 井田幸希事務所 **井田 幸希氏**
ブランドプロデューサー

慶應義塾大学 環境情報学部卒。ソニー・ミュージック、リクルートを経て、2017 年から株式会社ロフトワークにてプロデューサーとしての活動を開始。名古屋・久屋大通の FabCafe Nagoya には、立ち上げから取締役として参画し、デザインを使って東海エリアの企業の事業支援・事業開発を手がけてきた。2020 年度に中部経済産業局事業「商標及び意匠の戦略的活用によるブランディング構築支援事業」においてプロデューサーを務めた。2024 年に独立。



お申し込み

タイトル・必要項目①～③をご入力後、
右記のメールアドレスに送信ください

✉ **info@okb-kri.jp**

タイトル

イベント参加申込

本文

①所属・役職 ②お名前 ③電話番号

個人情報の
取り扱いに
ついて

- ・ご入力いただいた事項は、本講座・個別相談会の実施及び中部経済産業局からの関連支援施策の情報提供を目的として使用し、他の目的で使用することはありません。
- ・個人情報は、中部経済産業局との間で共有する以外には、ご本人の同意なく第三者に提供をいたしません。
- ・受託運営する株式会社OKB総研の個人情報保護方針 (<https://www.okb-kri.jp/policy/>) に従い、適切な保護措置を講じ、厳重に管理いたします。